

日本赤十字豊田看護大学・大学院 学生の皆様へ  
—「看護学生1名が新型コロナウイルスに感染」のニュースに関連して—

7月21日、愛知県内の看護専門学校は同看護学生1名が新型コロナウイルスに感染したことを公表し、ニュースでも報道されました。

その経緯をみると、当該看護学生は7月12日に感染者と接触、13日～15日専門学校の授業に出席、16日17日病院における臨地実習に参加、17日夜症状が発現し、19日のPCR検査で陽性と確認されました。

発症の2日ほど前からウイルスを出して感染しますから、15日～17日は学内及び病院内での他への感染が考えられます。その結果、患者13名、病院医療者40名、同級生39名、教職員18名がPCR検査を受ける対応となりました。

また、病院は当該病棟への新たな入院と外来を中止し、専門学校では同級生39名の臨地実習を中止し、教職員18名ともに自宅待機としました。さらに、39名の学生が臨地実習を実施した病院や施設すべてに連絡し、感染に関する注意喚起がなされています。

本学も1か所の実習施設が当該看護専門学校と同じであることを確認しましたが、実習時期が異なっていますので、感染の可能性はありません。学生の皆さん、このニュースは他人ごとではなく、私たちも同様の事態を引き起こしてしまう可能性があります。今回、1人が感染するとその影響は110名に拡大したことがわかります。

学生の皆さん、くれぐれも感染予防に十分留意してください。また、本学はアルバイトを禁止しています。しかし、このたび、様々な事情から止む無く、看護学実習中にアルバイトをしている学生がいることがわかりました。アルバイト先が感染の可能性の高い不特定多数が集まる場所である場合、感染予防のために実習を中止することにもなりかねません。特に看護学実習中の感染予防に留意してくださいませう、注意喚起いたします。

1. 感染予防の観点から、実習開始2週間前から実習終了まで、アルバイトを厳に禁止します。三密の場所でのアルバイトが判明した場合、その後2週間実習への参加を禁止することがあります。
2. 感染者多発地域、三密（密閉・密集・密接）の場所へ出かけることを避けてください。
3. マスクの着用、手指消毒、換気など、感染予防行動を徹底してください。

日本赤十字豊田看護大学 学長 鎌倉やよい